

当会を運営するためには皆様の会費収入が不可欠です。  
また、現役補助費等を充実させるには寄付金も必要です。  
何卒、絶大な御協力をお願い申し上げます。



趣旨に賛同頂き 2006年度 会費 3000円  
又は 寄付金を納入して頂く方へ



同封の郵便振替用紙を使用頂くか  
銀行振込をお願いします

2006年度会費納入郵便振替用紙	三菱東京UFJ銀行 生野支店 普通預金 NO.3999316 口座名 「高津高等学校ハンドボール部 OBOG会」
------------------	--

【振込人名】には卒業年度と  
カイヒ or キフを付記してください  
※※※ 書き方例 ※※※  
「高津太郎 コウ99キ カイヒ or キフ」

### 2004年度 決算 設立総会～2005/03/31

剰余金収入1	H15.8.25 開催のOB会 会費及び寄付23名分 106000円より 現役補助金50000円差引残金	56000
剰余金収入2	設立総会剰余金	162175
年会費収入	@3000×98名	294000
寄付金収入		131000
現役補助費	ユニフォーム 等	▲178584
会報費	印刷・発送費等	▲74577
通信費	はがき 切手他	▲48310
事務消耗費	用紙 封筒他	▲15537
雑費	振込手数料等	▲3180
<b>差引残高</b>	<b>2005年度へ繰越</b>	<b>322987</b>

上記決算に間違いありません 清水昇・井崎克史

### 2005年度 決算 2005/04/01～2006/03/31

繰越金収入	2004年度 繰越金	322987
年会費収入	@3000×43名	129000
寄付金収入		216000
総会費収入	当日会費 5000円×38名	190000
総会費	2005年総会 南海飯店私	▲291049
現役補助費	ユニフォーム・ボール・ ゴールネット等	▲250000
会報費	印刷・発送費等	▲0
通信費	はがき 切手他	▲105000
事務消耗費	用紙等事務用品	▲2410
雑費	振込手数料等	▲70
<b>差引残高</b>	<b>次年度繰越</b>	<b>209458</b>

<b>ハンドボール部 役員 事務局</b> <b>大阪府立高津高等学校</b> <b>OB・OG会</b>	<b>【会長】</b> 川上貴司 (高19期) <b>【副会長】</b> 大地庸元 (高20期) 塚正泰之 (高26期) 玉井牧子 (高28期) <b>【財務幹事】</b> 清水 昇 (高20期) 井崎克史 (高20期)	<b>【選任幹事】</b> 中江義雄 (高10期) 柳 朝子 (高11期) 渡邊高顕 (高13期) 許斐建樹 (高14期) 鈴木栄太郎 (高15期) 久岡敏博 (高18期) 稲葉良幸 (高20期) 早島知雄 (高20期) 片岡純夫 (高23期) 山本裕子 (高28期) 太田寛人 (高30期) 前川義信 (高34期) 平澤あず (高49期)	<b>【特別会員】</b> 村田 弘 (高津高校旧職員) 田中さや (高津高校旧職員) 今中啓旦 (高津高校旧職員) 太田正人 (高津高校旧職員) 門田昌司 (高津高校旧職員) <b>【事務局】</b> 大阪市浪速区難波中1-6-4 光洋商事株式会社内 川上貴司 TEL 06-6645-1902 mail : takashi-fm324@ams.odn.ne.jp <b>【会報編集】</b> 大地庸元
---	--	---	---



大阪府立高津高等学校ハンドボール部 OB・OG会会報

# 高津ハンドボール

## 第2回 OB・OG会 総会 開催

於 上六 南海飯店



### 2005年 7月2日 当日お昼にOB・OG戦も母校体育館にて開催されました

#### 御挨拶

たいへん遅くなりましたが、会報第2号をお届けします。  
第1号会報で年会費、ご寄付のお願いをさせていただきましたところ、本当にたくさんの方々からご浄財を頂戴致しました。あたたかいご支援に対し厚く御礼申し上げます。さっそく現役への援助として使わせて頂きました。

昨年7月2日、初めての試みとして「OB・OG感謝デー」を母校体育館で行い、現役との交流戦で久しぶりに心地よい汗を流し、その後場所を上六「南海飯店」に移して「総会」「懇親会」を開催、お互いの旧交を温めると共に、新入会員を交え大いに盛り上がりしました。

現役の活動については、太田先生(高30期)の熱心な指導の下、特に女子部においては府下ベスト8の成績を残しています。私学優位、又、校内クラブの中でも健闘が光ります。部員一同さらに上位を目指し練習は勿論、勉強にも励んでいますので、これからも応援の程よろしくお願いたします。

今年4月1日、なにかと話題になりました木村智彦校長が辞職され、後任に徳永博正校長が着任されました。新校長は母校(高19期)の卒業生で、たまたまですが、私と同期生になります。色々な機会を捉え、ハンドボール部への協力をお願いしてまいりたいと思っております。

母校で、H16年1月から同窓会事務局のお仕事をされておられ、私たちの会のお世話もお願いしておりました玉井牧子(高28期)さんが、4月末日で事務局を退任されました。長い間本当にご苦労様でした。その為、私たちの事務局をしばらくの間私のオフィスに移動させていただきます。ご了承下さい。

みなさまへの会報のお届けが、諸事情が重なりたいへん遅くなってしまいました。申し訳なく思っております。そのため、今年度分(2005.4.1～2006.3.31)の会費のお願いは、総会当日頂いた方々を除き致しております。幸い、財政上支障なく今年度予算を当初計画通り実行させていただきました。

「会」もスタートしたばかり、私たち役員もなかなかペースがつかめず、何をどのように進めていけばよいのだろうか模索の連続です。色々のご不満な点も多いことは存じますがこれからは存じ役員一同がんばってまいりますので、これからは「OB・OG会」にご支援助りますようよろしくお願い致します。

OB・OG会 会長 川上貴司



**母校体育館にて  
2005/07/02**

**OB・OG戦 この勇姿を御覧下さい**



**未来のスター選手**



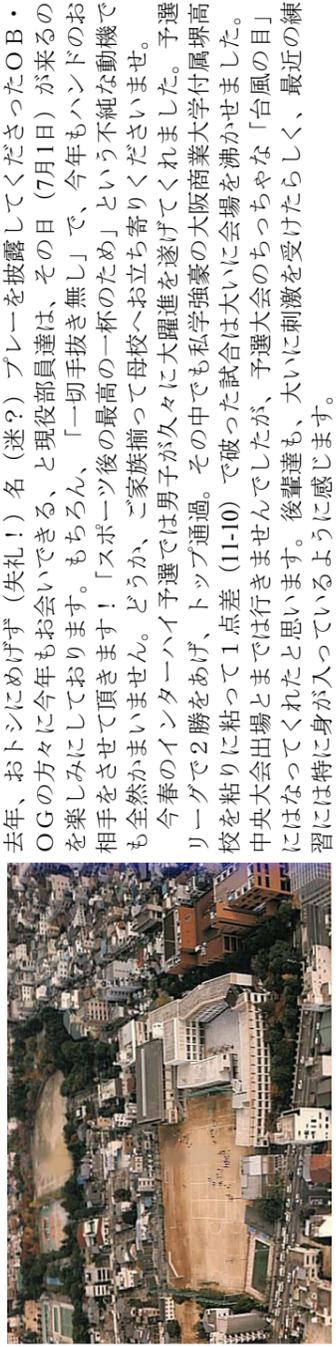
**音の!のスターレーヤ-**



**楽しい総会懇親会でした…また来年も逢いましょう**

**母校ハンドボールクラブの現況**

高津高校ハンドボール部OB・OGの皆様、いかがお過ごしでしょうか。今年も待ちに待った?現役との交流会並びに懇親会の季節がやってまいりました。去年、おトシにめげず(失礼!)名(迷?)プレーを披露してくださったOB・OGの方々に今年もお会いできる、と現役部員達は、その日(7月1日)が来るのを楽しみにしております。もちろん、「一切手抜き無し」で、今年もハンドのお相手をさせて頂きます!「スポーツ後の最高の一杯のため」という不純な動機でも全然かまいません。どうか、ご家族揃って母校へお立ち寄りくださいませ。



今年春のインターハイ予選では男子が久々に大躍進を遂げてくれました。予選リーグで2勝をあげ、トップ通過。その中でも私学強豪の大阪商業大学付属堺高校を粘りに粘って1点差(11-10)で破った試合は大いに会場を沸かせました。中央大会出場とまでは行きませんが、予選大会のちっちゃな「台風の目」にはなってくれたと思います。後輩達も、大いに刺激を受けたらしく、最近の練習には特に身が入っているように感じます。

女子は相変わらずの強さを維持してくれています。(南ブロック2位)「一度勝つことより、勝ち続ける事の方が数倍難しい。」とはよく言うたもので、先輩達に続けとばかり、年々少なくなる練習時間のハンデを、創意と工夫で乗り越え、今年チームも「大阪府ベスト8」の座を、新入大会に続く2大会連続で獲得してくれました。今大会で府下ベスト5に入れば念願の「近畿大会」への出場権が得られる所だったので、5位決定トーナメントで北ブロック1位の箕面高校相手に、同点、延長戦にもつれ込む善戦をしたものの、僅差で及ばず涙をのみました。しかし、この悔しさを胸に、すでにモチベーションの高い新チームが始動しています。良い先輩が、良い伝統をつくり、それが代々後輩へと繋がって『無形の力』となつて行きます。ここが高津ハンドの素晴らしさです。

今後とも、母校ハンドボール部の一層の活躍にご期待下さい!

高津高校ハンドボール部顧問 太田 寛人 (高校30期)



**新校長を訪ねて**

2006年5月15日 於 母校校長室

五月晴れのさわやかな屋下がり、着任早々の第18代 徳永博正 新校長先生を訪ね、校門をくぐりました。ちょうどその日は実力考査ということで、シーンとした校舎の中、三沢・羽生校長先生の写真と、額前先輩作の大きなバラの油絵がかかってある広い校長室に通されました。彼とは昭和42年に卒業以来約40年ぶりの再会になります。

たいへんご多忙の中でしたが時間が割いて頂き、2008年には創立90周年を迎え、学区制の大幅な見直しや、ますます厳しい競争の時代に入った高津高校の教育環境など問題が山積している中、どのように舵取りしていられるのか、これからの抱負などとお聞きしてみました。ハンドボール部の活動に大変ご尽力頂いている顧問の太田先生にも同席して頂きました。

川上 校長 「久しぶりです。ハンドにいた川上です。ようこそ母校へ、よろしく申し上げます。」

川上 「そうです。君はG組、私はE組でした。私は現在ハンドOB、OG会の会長を引き受けているんですが、ここにおられる太田先生が指導されておられるので、今日は一緒に過ごさせてくださいました。よろしく申し上げます。ご存知だろうと思いますが、ハンド部は伝統あるクラブで、現在約600名近い会員がおり、有名な選手も多く輩出しているんです。部員も多く女子は府下ベスト8とよく健闘していますよ。」

川上 校長 「ハンドはよくがんばっておられますね。太田先生は本当に熱心な方と聞いています。」

川上 校長 「ありがとうございます。勉強のほうも少しずつよくなってきているのでよろこんでいます。」

川上 校長 「そうです。学校へは大手前高校に3年前初めて出まして、それから高津高校ということになります。」

川上 校長 「大手前はどうでしたか。」

川上 校長 「以前は旧制女学校で、名門高校ということもあり勉強も熱心で、苦勞はあまりしませんでした。」

川上 校長 「着任1ヶ月ですが、高津の印象はどうですか。」

川上 校長 「校舎は新しく建替わっていますが、学校の雰囲気は以前とあまり変わっていないように思います。」

川上 校長 「雰囲気はまったく変わってしまいが、私としては少し残念なところもありますが、ところで、木村校長のあとを引き受けられ課題も多いことと思いますが、これからどんなことに取り組んでいかれますか。」

川上 校長 「学区が大きく再編されるので、今までお付き合いのなかった中学校から生徒を受け入れることになりました。初めてのことで、私としてはぜひ高津に来ていただけるところ、色々な面で高津の特徴や良さや中学校の先生方にアピールしていかないとはいけません。実は、今日各中学校をまわってきたところなんです。」

川上 校長 「それはご苦労様です。企業と同じですね。高津の良い伝統などぜひご紹介して下さい。それと、やはりクラブ活動についても力を入れ、大会などで名前をアピールすることも必要だと思います。」

川上 校長 「その通りです。文武両道の精神、特にスポーツ分野の推薦制度を導入してきています。以前と比べれば隔世の感がありますが、私の卒業した関係でも、ほとんどの学部で推薦制度を導入してきています。私たち同期生の松本一君などは、経済学部の教授ですが、ハンド部の特別顧問として現役の面倒を見てくれてます。」

川上 校長 「ありがとうございます。いろんなところで同期生にお世話になりますね。ところで、現在ハンドの部員はたいへん多いと聞いていますが、新入部員は入りませんか。」

太田 「はい、10人ほど入部しましたが、全員経験者ではありません。3年生の夏までがクラブを続ける子がほとんどですが、勉強もがんばっていますので、進学レベルが上向きになってきました。男子部もそれに刺激を受け、練習にも欲が出てきたようで、先日の大商大付属高校との試合ではシーズンゲームを1点差で勝ちました。今までになかった事で、たいへん喜んでます。」

川上 「それは良かったですね。勝つことがたいへん良い薬になります。次へのステップになります。練習時間はどれくらいですか。」

太田 「そのことですが、思うように練習時間が取れないのが実情です。授業時間の関係もあり、下校時間が決まっていますので、その間に各クラブの練習が一時に集中してしまいます。又、秋から冬にかけては日没の関係で一層練習時間が制約され、たいへん危険な状況も出てきますのでいろいろと悩んでいるところです。」

川上 「練習をじゅうぶんしないと強くなれませんが、それは困りましたね。グラウンドに照明設備があると聞いていますが、使えないのですか。」

太田 「前校長にお願いはしていましたが許可がおりず、そのままになってます。」

川上 「今のことについてですが、何とかご検討していただけないでしょうか。」

川上 校長 「分かります。これから他クラブの活動状況を一度よく調べてみましょう。少し時間を頂きたいと思えます。」

川上 「今日はたいへんお忙しい中、私たちのために時間を割いていただきありがとうございます。ぜひ高津高校、名門復活のためにがんばっていただきたいと思えます。又機会があれば総会にも一度お招きしたいと思いますので、その節はよろしくお願ひします。長い時間ありがとうございました。」



挨拶が終わり、私たちが校長先生自らの校舎の出口まで見送ってくれましたが、その姿から彼の母校に対する並々ならぬ思いがこちらに伝わってきたように感じました。これからの徳永新校長の手腕に、大いに期待したいと思います。(川上 記)